

2023年1月30日

萩原電気ホールディングス株式会社と「ESG 経営支援私募債」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型社債商品である「ESG 経営支援私募債（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の社債商品となります。

本日、萩原電気ホールディングス株式会社（代表取締役社長 木村 守孝、以下「同社」）は、本商品を発行いたしました。同社は、主に自動車向け半導体及び電子部品の販売や技術サポート等を行うデバイス事業と、製造業向けに IT ソリューションや計測システム、産業用コンピュータ等の適用を行うソリューション事業からなる技術系商社です。「創造と挑戦」という経営理念のもと SDGs/ESG 経営を推進しており、『モビリティ社会』の未来と、『製造業のものづくり』の未来に対して、デジタルトランスフォーメーションで新しい価値をデザインし、持続可能な社会に貢献する企業グループを目指しています。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

- ✓ 2022年7月に取締役社長を委員長とするサステナビリティ委員会が設置され、その下部組織には、内部統制、リスクマネジメント、SDGs や ESG を推進・管理する各委員会を設置し、体系的かつ効果的なマネジメント体制でのグループ経営の強化を進めている点。
- ✓ 中期経営計画における ESG 視点の組み込みや、TCFD 情報開示におけるリスクと機会開示、リスク管理委員会での検討などの形で特定を実施し、その上で、サステナビリティ委員会にて課題形成、テーマの推進、活動のモニタリングなど一連の活動について、定期運用する体制を構築している点。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上